

2016 年 9 月 吉日

第 1 回「漢字教育公開研究会」のご案内（第 1 次）

主 催：立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所（文化事業担当）
白川式漢字学習法開発ワーキンググループ
協 力：学校法人立命館一貫教育推進本部、福井県教育庁

初秋の頃 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、標記の件につきまして、下記のとおり実施いたします。何かと校務多忙の折とは存じますが、多数のご参加を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

【趣旨】古代文字学の泰斗、故白川静先生（立命館大学名誉教授）は最晩年、自らの「文字学」の成果を広く学校教育の現場で活用してほしいと精力的に漢字教育に関する講演を行われました。白川先生の提唱された漢字教育は「成り立ちとつながりで漢字を学ぶ」ということでした。ともすれば、書いて覚えるだけの機械的で単調な作業に陥りやすい漢字学習に、「漢字のルーツ＝成り立ち」と「漢字のつながり」を知って覚える覚え方があることを伝えたいとの思いからでした。白川先生はその学習法を「理想の漢字教育」と呼んで、漢字教育に新しい風が起ることを願っておられました。しかし、先生が亡くなられてすでに 10 年、白川先生と縁の深い立命館の学校でも、先生から預けられた宿題を十分果たせぬまま時を過ごしてきてしまいました。今回、標記の教育研究会を開催するにあたって、ようやく宿願を果たす日がきたとの思いであります。

今回、数年来全県あげて「白川文字学をもとにした漢字教育」の実践に力を尽くしてこられた福井県の先生方のお力もお借りして、白川先生が描かれた漢字教育の具体的な実践について、立命館の小学生から高校生までを対象とした授業を公開し、ご批評を仰ごうと考えた次第です。どうか、初等中等教育の漢字教育に一石を投じるような研究会へと育っていきますよう、皆様のお力添えをいただければ幸いです。

【日 時】2016 年 11 月 19 日（土） 9 時 40 分～15 時 00 分（予定）

【参 加 費】無料

【会 場】立命館中学校・高等学校 <http://www.ritsumei.ac.jp/fkc/>
〒617-8577 京都府長岡京市調子一丁目 1-1 TEL：075(323)7111（代表）

■阪急西山天王山駅より徒歩約 6 分（西国街道を北東に）

■JR 長岡京駅より徒歩約 15 分（西国街道を片泓交差点から南へ）

■京阪淀駅よりバス約 12 分（調子バス停より、西国街道へ）

《2014 年 9 月に新キャンパスに移転しました。ご注意ください。》

【研究テーマ】「漢字教育」の可能性を探る～白川文字学をもとにした漢字学習法の試み～

【対象 生徒】立命館小学校6年生、立命館中学校1年・2年生、立命館高校1・3年生

【日 程】 9:00 受付開始

9:45-10:35 公開授業1（2限）

10:45-11:35 公開授業2（3限）

昼食休憩 45分（カフェテリア他）

12:20-13:20 意見交流会

13:30-13:50 全体会① 研究会開催にあたって……漢字WG

13:50-14:50 全体会② 記念講演『素顔の白川静』講師：津崎 史

（白川先生ご長女）

14:50-15:00 閉会のご挨拶津藤純子（立命館慶祥中高）

公開授業一覧【予定】

	テーマ（仮題）	授業者
2限 小学校6年 R組	古代文字で広がる「絵本」の世界	大橋輝子（立命館小）
I組	子は宝	竹内恵美子（福井県教育庁）
中学校1年 3組	「兆」の熱いパワー	西原丈人（立命館宇治中高）
2年 5組	「手」は七変化	村田友美（立命館中高）
高 校3年 3組	金文をトレースする	後藤文男（白川研）
3限 小学校6年 T組	つつんで、くるむ	長谷川昭（立命館小）
S組	古代文字動物園をつくろう！	蓑輪潤子（福井市東郷小）
中学校1年 4組	漢字の仲間をみつけよう！	津藤純子（立命館慶祥中高）
2年 6組	「白川漢字×ICT」 ～古代文字と未来が切り結ぶ、学力の3要素～	犬飼龍馬（立命館守山中高）
高 校1年 3組	「桃」と「李」との物語	内田 剛（立命館中高）

【参加申込方法】FAX(別紙申込用紙)もしくはメールで下記の事務局までお申し込みください。

【昼 食】 近隣に食事をする場所がありません。弁当持参もしくは会場校のカフェテリアをご利用ください。

【事 務 局】 学校法人立命館社会連携部社会連携課 「白川研」文化事業担当 後藤・久保・若林
〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1 学校法人立命館社会連携部社会連携課内
電話：075-813-8110 FAX：075-813-8167 E-mail：toyomoji@st.ritsume.ac.jp